



北野天満宮の臥牛像

2010.10.15 創刊号

# 西陣憩いの郷だより

〒602-8476 京都市上京区桐木町885-1  
TEL 075(431)1513 FAX 075(431)1514

発行:社会福祉法人北野健寿会 特別養護老人ホーム西陣憩いの郷  
発行責任者:吉村 康 (全室個室のユニットケア施設)

〈施設の運営理念〉人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心安らぎの場を提供します。

理事長就任のご挨拶

## 引き続きご支援ください

社会福祉法人北野健寿会

理事長 相馬 隆人



酷暑だつた夏も去り、本格的な秋が巡ってまいりました。

日ごろは社会福祉法人北野健寿会と特別養護老人ホーム西陣憩いの郷の運営に際しまして、何かとお力添えをいただき、心から厚く御礼申し上げます。

去る2月、相馬隆臣初代理事長が逝去しました際には、皆様にいろいろとご心配をおかけいたしました。

その後、3月の役員会で不肖私が2代目理事長に就任いたしました。

前理事長の遺志を継いで職務を全うしてまいりたいと考えております。医師としての経験は多少ありますものの、福祉の分野についてはまだまだ分からぬことが多い、これからも精進を重ね、皆様のお役に立てるようになります。

さて当施設も、平成17年5月に開

設以来5周年の年を迎えることができました。これもひとえに入居者やご家族の皆様方、近隣の皆様方のご協力があったからこそと考えております。この間全室個室のユニットケア施設において、入居者お一人お一人に合った介護を提供すべく努力してまいりました。

医療・介護は、生きていく中で誰もがいつかどこかで必ず受けることになるものだと思います。

これらは、「社会生活における安全保障」ですので、決してないがしろにはできないものです。しかし、現実にはどうでしょうか。

経済不況が続く日本において、大きな課題の一つは、年々増えていく介護の必要な高齢者への対応をどうするかということです。特別養護老人ホームを例にとってみても、入居を希望されている待機者は40数万人と言われています。全国の特別養護老人ホームの総定員は42万人ですか

ら、それ以上の方が入居できる日を待つておられるということになります。一法人の力では如何ともしようがないませんが、今後、少しでも施設の増設をはかり、一人でも多くの方に入居していただけるようにするなど、鋭意努力したいと考えております。当施設では今後も安心して介護を受けていただけるよう、職員一同力を合わせてなおいっそうの努力を重ねていく所存ですので、引き続きご支援くださいますようお願い申し上げまして、就任のご挨拶とさせていただきます。

創刊号をお届けします  
施設長 吉村 康



施設開設5周年  
の年を迎え、遅ればせながら、「西陣憩いの郷だより」創刊号を発行しましたので、お届けいたします。ご一読いただければ幸いです。

当面は不定期の発行になりますが、今後は、よりいっそう充実した内容になるよう努力してまいりますので、お気づきになられた点やご意見等、ぜひお寄せくださいるようお願いいたします。

# 年々進む超高齢化・重度化

平均年齢91歳3ヶ月、百歳以上10人に

年々超高齢化が進んでいる特別養護老人ホーム西陣憩いの郷の、長期入所者百人の平均年齢は平成21年度末で91歳3ヶ月となり、百歳以上の方も10人になった。開設以来ほぼ5年、当初からの入所者の半数がご健

在である。しかし、年々、入院や治療の必要な方が増えており、3分の2の方が重度の認知症を患つておられ、要介護度も平均4（5が最も重い）となつていて、超高齢化とともに年々重度化が進んでいることが伺

われる。

長期入所者百人の前住所地は、元上京区41人、北区25人、左京区22人、右京・中京区各3人などとなつていて、地元を中心に入所いただいていることが分かる。一年間の入・退所者は14人であった。

およそ50人の方が利用登録いただいている短期入所（ショートステイ）には、一年間で延べ3千4百人（一日あたり9・3人）の方にご利用いただきました。

7階建の西陣憩いの郷では、施設の運営理念を「人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心・安らぎの場を提供します」とし、「介護目標」として「①個別ケアの推進、②サビスの向上、③人材の育成」を掲げ、各フロアで「季節感、個別性の感じられる環境作り」「いつも笑顔で活気に溢れたフロアに」「安全に配慮しつつ楽しみながら入浴してもらう」「ご利用者様に尊敬の念をもつてきちんととした言葉遣いで接する」などの目標を決めて、お一人お一人に合った介護となるよう取り組みを進めた。

担当職員は、看護・介護合わせて常勤換算で約70人、職員一人が入所者1・5人を担当している体制になり、職員の配置は最も多いほうである。

## 外出で気分転換図る

これらの職員で、日常生活のお世話をするとともに、夏祭りやクリスマスコンサート、地域の小学校との交流会、尺八演奏や獅子舞の鑑賞、美術・音楽などのクラブ活動といつ



季節を感じ、日々の生活を楽しんでいた。だくお手伝いができたので

はないかと考  
えている。  
医療の面では、感染予防・褥瘡予防対策に力を入れた。ノロウイルス、インフルエンザなどの集団発生はなく、体圧分散マットの効果的使用や栄養状態の維持に努めた結果、褥瘡の再発を抑制することができた。

事業活動収入対経常収支差額比率が10・14%、人件費率のほうは55・93%であった。

## 西陣憩いの郷

私たち西陣憩いの郷で働く職員は、入居者やご利用者など先輩たちのプライバシーを守り、居心地のよい生活の場を作る為に力を尽くすとともに、そのことを通じて人として成長させていただくことを至上の喜びとして、次の理念の実現に努めます。

私たち、先輩たちのこれまでのごく普通の暮らしを大切に、生活の場が変わっても少しでも以前の暮らしに近づけるように、みんなで力を合わせて努力します。

## 基本理念

私たちは、先輩たちから生きる知恵を学んで自らを磨くとともに、介護の技や意思を通い合わせる力を鍛えて、自分のことはできるだけ自分でできめさせていただき、また、自分でできることはできるだけ自分でしていただき、生きがいの人としての尊厳、安心と安らぎのある生活を保持していただくようになります。

私たち、先輩たちと楽しみや悩み、喜びを分かち合い、家族との笑い声が広がる空間づくりに努めるとともに、近所の人たちとの交流が深まるようになります。

## レベルアップめざす

職員の質の向上をめざす取り組みとしては、OJT研修を中心とした職場研修を今年度も引き続き取り組みます。

今年度は、開設6年目に入りますので、職員の心身のリフレッシュを図るために、5周年記念事業や、ご家族や近隣の皆様に施設の動きをお伝えする広報紙の発行などに取り組みます。

ご利用者の人権を厳格に擁護し、安全で、尊厳ある生活を支え高めるための取り組みとして、①個別ケアの確立、②排泄ケアの確立、③認知症ケアの確立、をめざします。

具体的には、介護技術のレベルアップを図るための研修体制を充実させ、未然に事故を防ぐための洞察力、推測力を養うことで職員が常に「気づく」ことができるようになります。とともに、日々問題意識を持ちながら安全管理に対応する意識を高めています。

また、「暮らしの場」を意識した生活の質の向上に努めます。  
具体的には、今年度も、季節感を大事にした行事を行うとともに、ご利用者の希望に沿ったさまざまなクラブ活動、外出支援に取り組んでいます。  
看取りケアについても前年度以上

## 重度化対応で常勤医師を配置

開設5年・介護の質の向上めざして

平成22年度  
事業計画

社会福祉法人北野健寿会特別養護老人ホーム西陣憩いの郷は、開設5周年の年を迎えるに当たり、次の方針で事業を推進します。

ターミナルケアに入つておられる方も3人になり、医療の必要な方の割合が急激に高まっているため、今年度は、協力病院の協力を得て、常勤医師を配置します。  
常勤医師の配置により、今後は、受け入れられるご利用者の幅を少し



美術クラブの貼り絵作品

## 重度化に向き合つて

きます。そのうえで、昨年度受診した第三者評価でも提案のあつた、ご利用者の意見・要望・苦情を広く拾い上げる仕組みを充実させていきます。



感染予防対策では、空調や加湿器、前年度に購入した30台の空気清浄機の使用といった環境整備、手洗いの励行を中心に感染予防に力を入れ、例年入所者の入院疾患で多い肺炎や尿路感染の予防に注力したいと考えます。

入所者のほとんどの方が多くの薬剤の減量に取り組むとともに、職員研修の中で正しい与薬方法の修得や薬剤の取り扱いの注意点について理解を深め、事故予防につなげていきたいと考えています。  
看取りケアについても前年度以上

## フロア目標を掲げて

7階建の西陣憩いの郷では、施設の運営理念を「人としての尊厳・自己決定を尊重し、安心・安らぎの場を提供します」とし、「介護目標」として「①個別ケアの推進、②サビスの向上、③人材の育成」を掲げ、各フロアで「季節感、個別性の感じられる環境作り」「いつも笑顔で活気に溢れたフロアに」「安全に配慮しつつ楽しみながら入浴してもらう」「ご利用者様に尊敬の念をもつてきちんととした言葉遣いで接する」などの目標を決めて、お一人お一人に合った介護となるよう取り組みを進めました。

全体として、季節を感じ、日々の生活を楽しんでいた。だくお手伝いができたので、一年をさまざまに過ごしても団つていた。そのほかには、一緒に料理やお菓子作りをしたり、花や野菜の栽培、雛飾りなどの季節行事、誕生日や敬老の日のお祝いなど、一年をさまざまな過ごしてもらつた。





# 平成21年度 決算報告

## ■貸借対照表

		平成22年3月31日現在	
資産の部		負債の部	
流動資産	177,997,730	流動負債	15,245,081
固定資産(基本財産)	1,664,024,368	固定負債	1,076,309,491
固定資産(その他の固定資産)	145,237,687	負債の部合計	1,091,554,572
		純資産の部	
		基本金	242,055,000
		国庫補助金等特別積立金	407,720,833
		その他の積立金	49,000,000
		次期繰越経営活動収支差額	196,929,380
		(内当期活動収支差額)	(53,668,646)
		純資産の部合計	895,705,213
資産の部合計	1,987,259,785	負債及び純資産の部合計	1,987,259,785

## ■事業活動収支計算書

支出の部		(自)平成21年4月1日 (至)平成22年3月31日	
		収入の部	
人件費	296,300,290	介護保険収入	533,835,910
直接介護費	56,612,701	補助金収入	4,320,576
一般管理費	54,959,966	受託収入	116,445
減価償却費	70,640,894	国庫補助金等特別積立金取崩額	20,872,340
引当金繰入	4,989,804		
事業活動支出計	483,503,655	事業活動収入計	559,145,271
借入金利息	21,329,599	受取利息配当金収入	36,504
その他の事業活動外支出	2,873,303	寄付金収入	350,000
事業活動外支出計	24,202,902	その他の事業活動外収入	2,565,780
その他の特別損失	722,352	事業活動外収入計	2,952,284
特別損失計	722,352		
(当期活動収支差額)	(53,668,646)	その他の特別収入	0
支出の部合計	562,097,555	特別収入計	0
		収入の部合計	562,097,555

夏祭り・流しそうめん・行事食…紙面でもお伝えしましたように、各ユニットでは、普段室内で過ごされることの多い利用者の方に、少しでも季節を感じていただけるよう、と、介護長はじめ・介護主任・介護スタッフ・管理栄養士が工夫を凝らし、行事を企画しております。そんな想いの郷の「四季」をこの広報誌でお伝えできればと願い、編集にあたさせて頂きました。まだまだ至らぬ点もございますが、今後ともよろしくお願いいたします。  
(N)

